
水面の蝶

夕神

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

水面の蝶

【Nコード】

N7446D

【作者名】

夕神

【あらすじ】

水面にいた私（アゲハ蝶）飛び立とうと思ったなら木にぶつかった。そこを助けてくれた少年に恩返しをするために人間になるのだが…？

第一話 恩返し

水面を揺らして私は飛ぶ。

限りなく蒼い空に…

私は羽根を羽ばたかせて飛び立つ。

「ひゃあっ…。」

木にぶつかった衝撃で羽根が折れる。

涙が落ちるように私は落ちる。

「おっと…アゲハ蝶？こんな季節に？」

一人の少年が私を助けてくれた。

ちょ…

人間じゃん…や、ヤバイ…逃げなきゃ…

痛っ…。

「血い出てるじゃん…。ちょっと待ってな。」

えっ…

少年は羽根に包帯代わりの布を巻いてくれた。

優しい人間もいるんだなあ…

「もうぶつかるなよ！」

少年は太陽のような暖かい笑顔で私を地面におろした。

恩返しがしたい…。

この人に恩返しがしたいっ！

「アゲハ様っ！」

「あら…どうしたの…？」

「恩返しが！人間に！したいの！」

「何が言いたいのか？落ち着いてから話して。」

スウ、と深呼吸をしてからもう一度アゲハ様を見る。

許してくれるかな…？

どうかな…

「かかっ！」

「人間にしてくださいっ！」

「…理由は？理由が無いなら許可しません。」

「恩返しがしたいんです！私を助けてくれた人につ！」

アゲハ様は考えるような顔をした。

もしかして…だめ…？

アゲハ様は私に球を差し出した。

「これを飲みなさい…人間になれますから。人間名は『揚羽 永遠』よ…。」

私は笑顔で

「はいっ！永遠、行つてきます！」

そう言つて球を飲んだ。

身体は人間になっていた。

「続く」

第一話 恩返し（後書き）

読んでくれてありがとうございます
よければ感想をお願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7446d/>

水面の蝶

2010年11月23日06時03分発行